

活動報告

2015年9月1日付号

日本共産党
前市議員

とがし豊



皆様のご意見をお寄せください！発行・日本共産党京都左京地区委員会 電話・761-6341(自宅TEL771-7847)

日誌

【8月】3日百万遍・大河原参議院京都選挙区予定候補と一緒に左京党議員団合同街宣／4日戦争法案反対左京ウォーク&市役所前集会・デモ／5日銀閣寺下水逆流対策を上下水道局東部支所に申し入れ、戦争法案反対水曜アピール／6日京都平和の集い・だん王法林寺／8日党を語る集い&フォークソング@四錦学区個人宅／9日戦争法案に反対する左京の会宣伝カーパレード、平和のための戦争展・沖縄ピーススクール／12日戦争法案反対水曜アピール／16日消防団大文字送り火警備／17日下鴨神社マンション対策／18日左京南部まちづくり連絡会／19日戦争法案反対水曜アピール行動／21日デモ申請／22日地元・大文字町地藏盆／24日下鴨神社マンション対策、党左京議員団で戦争法案反対キャラバン宣伝／26日京都市美観風致審議会景観問題小委員会傍聴、下鴨神社マンション問題を考える市民の会学習会／27日党吉田後援会早朝宣伝／28日「みんなの学校」自主上映会、川東学区社会福祉協議会お食事会／29日夏まつり子ども地藏盆@だん王保育園／30日吉田コミュニティサマーコンサート



毎週水曜日、百万遍にたち戦争法案反対



党左京議員団で戦争法案反対を訴え



今年も 8/16 は大文字「送り火」警備に消防団員として参加。天候に恵まれ眺めも最高。

左京区から叫ぶ 戦争法案、本当に止める！

先日、川東学区の社会福祉協議会の懇親会に参加したときのことです。「戦争中は、女学校の講堂が軍需工場になっていてそこで働いていたの」「京大熊野寮は昔、戦闘機の工場で学生たちが一生懸命つくっていた」「小学校五年生が木を切り出し燃料を調達していた」など、子どもたちまでも動員した熾烈な戦争が行われていたこ

とを痛感しました。命を失わなかった子どもたちも、子ども時代の貴重な時間が奪われたことと、平和憲法の下でのびのび過ごす我が子の生活を比較すると、改めて平和の尊さを実感します。二度と、戦争しない、不戦の誓いを安倍政権につきつけねば。

これまで「集団的自衛権には賛成」と言っておられた方も、「安倍首相のやり方は戦前の軍部の暴走と同じだから反対」と、声を上げ始め

られています。さらに反対の声をひろげ廃案に追い込みましょう。

下鴨神社のマンション建設 市長の暴走ストップを

下鴨神社マンション問題をめぐり京都市美観風致審議会は八月二八日、マンション反対運動でがんばる市民等二〇人超の傍聴者が見守る中で開催されました。①「森の面的な広がりやが喪われたのは遺憾」、②参道沿いの「建物

が大きく、塀が一体的に見えてしまう」ことによる圧迫感を指摘する意見、③二〇メートルを超えるような樹木の移植が現実的なかどうか、京都市の計画案では樹木の移植などがうまくいく保障がないことから経過観察が必要、④洗濯物を干す場所があるのか等、根本的な修正を求める意見さえも積み残したまま「承認」に。計画推進を前提に議論している委員からさえ重大な問題点が指摘されるような今回の欠陥計画に許可を与えるなど絶対に許されません。今後、風致許可、埋蔵文化財調査、開発行為の許可、建築確認など、あらゆるステップで許可権限を握るのは市長です。国にパッファゾーン(世界遺産緩衝地帯)保護を要請しておきながら、自らは強引にパッファゾーンでの緑地破壊・大規模開発を推進するのは筋が通りません。市政の転換求め、声を上げましょう。

雑記帳・平和の孔雀

長女(五歳)と次女(三歳)をつれて『平和のための戦争展』に行きました。子どもたちが気に入ったのは折り紙(折鶴)コーナー。最初は鶴で満足していた長女。平和ミュージアムに飾られた「火の鳥」の壁画をみて「おとうちゃん、クジヤクを折りたい」といじりました。インターネットで「孔雀の折り方」を検索し、その動画を見ながら孔雀をおって長女に教えました。なんとか孔雀を完成させた長女。今度は別のモノを折り出しました。「メスの孔雀」です。完全な創作折り紙。オスとメスが無事に完成すると、ロビーで二匹が仲良く飛び回るゴッコ遊び。なるほど、孔雀の立場にたって考えるとオスだけじゃあ不自然。子どもってすごいなと改めて感じました。折り紙の「動物」に感情移入する中で、「動物」「モノ」への思いやり、ひいては他者を思いやる心がはぐくまれていけばいいかなと、時計とにらめっこする私でした。



「雑紙」回収など次々実現 ごみ袋値下げを実現しよう

昨年6月から始まった「雑紙」の資源回収。当初、共産党が何度提案しても、京都市は拒んでいました。しかし、有料化ではなく分別を徹底してこそゴミは減らせることを他都市の事例をあげ、追及する中で、市当局も受け入れざるを得なくなったのです。分別のさらなる徹底をお願いする代わりに、ごみ袋の値下げを行えと提案中です。